

IBM Cognos Analytics on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

1.1 IBM Cognos Analytics on Cloud

本「クラウド・サービス」は SoftLayer のデータセンターでホストされ、お客様は、Web ブラウザーを介して、IBM Cognos Analytics ソフトウェアの最新機能にアクセスし、ダッシュボード、対話式レポート、カスタム分析、アドホック・クエリーの開発、レポートの新規作成、定期レポートの表示、およびアクティブ・レポートの取り込みができます。「クラウド・サービス」は OLAP を対話的に活用し、お客様が、リスト、クロス・タブ、チャート、および財務諸表スタイルのレポートといった幅広いレポート・タイプを作成してフォーマットすることができるようにします。「クラウド・サービス」は、Apple iPhone、Android、およびタブレットを含む幅広いモバイル・デバイスを使ったレポートの取り込みにまで及びます。

1.2 IBM Cognos Analytics Workgroup on Cloud

「クラウド・サービス」は実稼働用の IBM Cognos Analytics へのアクセスをユーザーに提供します。「クラウド・サービス」はユーザーが生成したコンテンツに対して最大 100 GB のストレージを可能にします。

1.3 IBM Cognos Analytics on Cloud Proof of Concept

本「IBM クラウド・サービス」は、上限を 6 か月間とする短期間のサブスクリプションです。ユーザーが生成したコンテンツに対して最大 100 GB のストレージを非実稼働用に提供します。

1.4 IBM Cognos Analytics Standard on Cloud

「クラウド・サービス」は最小で 3 つの IBM Cognos Analytics Report Server の利用が可能で (アドオンとして追加の Report Server を購入できます)、かつユーザーが生成したコンテンツに対して最大 250 GB のストレージを可能にします。さらに、この「IBM クラウド・サービス」には、実稼働環境移行前の使用を目的とした「IBM クラウド・サービス」の 1 つの「インスタンス」を備えた別個の環境が 1 つ含まれています。

1.5 IBM Cognos Analytics Enterprise on Cloud

「クラウド・サービス」はベアメタル・サーバーでホストされており、最小で 5 つの IBM Cognos Analytics Report Server の利用が可能で (アドオンとして追加の Report Server を購入できます)、かつユーザーが生成したコンテンツに対して最大 500 GB のストレージを可能にします。さらに、この「クラウド・サービス」には、実稼働環境移行前の使用を目的とした「クラウド・サービス」の 1 つの「インスタンス」を備えた別個の環境が 1 つ含まれています。

1.6 IBM Cognos Analytics Hybrid Entitlement

1.6.1 IBM Cognos Analytics Hybrid Entitlement Standard

本「Hybrid クラウド・サービス」には、IBM Cognos Analytics Standard on Cloud へのアクセス、および IBM Cognos Analytics Advanced をダウンロードするための使用許諾が含まれています。

「プログラム」に含まれるライセンス条項に加えて、お客様は、PowerPlay のコンポーネントや機能を使用することを許可されていません。

1.6.2 IBM Cognos Analytics Hybrid Entitlement Enterprise

本「Hybrid クラウド・サービス」には、IBM Cognos Analytics Enterprise on Cloud へのアクセス、および IBM Cognos Analytics Advanced をダウンロードするための使用許諾が含まれています。

「プログラム」に含まれるライセンス条項に加えて、お客様は、PowerPlay のコンポーネントや機能を使用することを許可されていません。

1.7 オプションの機能またはサービス

下記アドオンは、IBM Cognos Analytics Standard on Cloud および IBM Cognos Analytics Enterprise on Cloud またはそのいずれかの使用許諾をお持ちのお客様にのみ提供されます。

a. IBM Cognos Analytics On Cloud Throughput Capacity

この「クラウド・サービス」は、追加で1つ IBM Cognos Analytics Report Server コンポーネントをプロビジョニングするために提供されます。IBM Cognos Report Server は、PDF、HTML、XLS、XML および CSV 形式でレポートをレンダリングします。

b. IBM Cognos Analytics On Cloud Additional Storage

このオプションの「クラウド・サービス」は、ユーザーが作成したコンテンツに対して、契約済みの「クラウド・サービス」で規定される最大値を超え、250 GB の追加ストレージを提供します。

1.8 キャパシティー構成オファリング

1.8.1 IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity

本オファリングは、完全な Cognos Analytics on Cloud ソフトウェアの「インスタンス」で、2つの仮想プライベート「レポート・サーバー」(2 コア (または同等のキャパシティー)、64 GB RAM、およびユーザーが作成するコンテンツ用の合計 500 GB のストレージを搭載)が含まれます。これをサポートするインフラストラクチャーには、複数のコンテンツ・マネージャーおよびコンテンツ保存データベースが含まれます。

1.8.2 IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity Additional 4 Cores

「レポート・サーバー」の構成を拡張するために、既存の IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity システムに4つのコア (または同等のキャパシティー) が追加されます。このオプションを追加する前に、IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity を購入しなければなりません。

1.8.3 IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity Non Production

本オファリングは、「非実稼働」使用に限定された、完全な Cognos Analytics on Cloud ソフトウェアの「インスタンス」で、2つの仮想プライベート「レポート・サーバー」(2 コア (または同等のキャパシティー)、64 GB RAM、およびユーザーが作成するコンテンツ用の合計 500 GB のストレージを搭載)が含まれます。これをサポートするインフラストラクチャーには、複数のコンテンツ・マネージャーおよびコンテンツ保存データベースが含まれます。

1.8.4 IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity Non Production Additional 4 Cores

「レポート・サーバー」の構成を拡張するために、既存の IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity Non Production システムに4つのコア (または同等のキャパシティー) が追加されます。このオプションを追加する前に、IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity Non Production を購入しなければなりません。

1.9 IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity Additional 32 GB RAM

本「クラウド・サービス」は、Cognos Analytics on Cloud サブスクリプション・オファリングの任意の構成で使用することができます。キャパシティー環境における「レポート・サーバー」の数量に基づいて、追加の RAM を購入することができます(お客様が「レポート・サーバー」2つを有している場合は、2 x IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity Additional 32 GB RAM を購入する必要があります)。常に、最低でも2つの「レポート・サーバー」がプロビジョニングされます。

1.10 セットアップ・サービス

以下のセットアップ・サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入するものとします。

1.10.1 IBM Cognos Analytics on Cloud Jump Start Remotely Delivered

このセットアップ・サービスは、スタートアップ・アクティビティーについて最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには、(1) ユース・ケースによる支援、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのプラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題が含まれます。(以下総称して「スタートアップ・アクティビティー」といいます。) このリモートで提供されるセットアップ・サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、す

すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、お客様の「証書 (PoE)」に記載された使用許諾の購入日から 90 日後に終了します。

1.10.2 IBM Cognos Analytics on Cloud Accelerator Remotely Delivered

このセットアップ・サービスは、アクティビティーの実行に使用される最大 50 時間のリモート・コンサルティング時間を提供します。これには、(1) ユース・ケースによる支援 (1 回限りのポイント・イン・タイムのデータ移動を支援するデータ移動のユース・ケースを含みます。)、(2) レポート、ダッシュボードおよびその他システム・ツールのプラクティスに関する指導、(3) 初期データ・ロードの準備、実行および検証に関するガイドによる支援およびアドバイス (ソース環境およびターゲット環境のセットアップ、およびデータ移動のユース・ケースに定義されるデータ移動を含みます。)、(4) その他管理および構成に関して関心のある主題が含まれます。(以下総称して「アクティビティー」といいます。) このリモートで提供されるセットアップ・サービスは、「エンゲージメント」ごとに購入されるものとし、すべての時間数が使用されたか否かに関わらず、使用許諾の購入日または「クラウド・サービス」の当初サブスクリプション期間の最終日のいずれか早い日から 12 か月後に終了します。

2. セキュリティーの内容

本「クラウド・サービス」は、IBM の「IBM SaaS」に関する「Data Security and Privacy Principles」(<http://www.ibm.com/cloud/data-security> で入手可能) および本セクションの追加条件に従うものとします。IBM の「Data Security and Privacy Principles」が変更される場合であっても、それにより「クラウド・サービス」のセキュリティーのレベルが低下することはありません。

「クラウド・サービス」は、1996 年米国における医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令 (HIPAA) に基づいて保護されている保護医療情報 (PHI) の伝送または保存のために使用することはできません。ただし、(a) IBM とお客様が適用される「Business Associate Agreement」を締結している場合、および (b) IBM がお客様に「クラウド・サービス」が PHI とともに使用できる旨の明示的な確認書を提供する場合は、この限りではありません。本「クラウド・サービス」は、さらなる規制要件が適用されるデータを処理するために設計されたものではありません。

2.1 セキュリティー機能および責任

「クラウド・サービス」には、以下のセキュリティー機能が実装されています。

「クラウド・サービス」では、IBM ネットワーク外のデータ伝送中に、コンテンツの暗号化を行います。「クラウド・サービス」では、データ伝送を待機中の静止時に、コンテンツを暗号化します。

本「クラウド・サービス」は、IBM の「プライバシー・シールド」認定に含まれ、お客様が「クラウド・サービス」を米国にあるデータセンターでホストすることを選択した場合に、「IBM Privacy Shield Privacy Policy」(http://www.ibm.com/privacy/details/us/en/privacy_shield.html に掲載) が適用されます。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) を提供します。本「SLA」は保証ではなく、IBM Cognos Analytics Hybrid Entitlement オファリングに適用されません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間 (以下「ダウンタイム」といいます。) に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第

三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティに関する事故もしくはお客様によるセキュリティ・テスト。IBMは、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の12分の1の10%を超えないものとします。

3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性は各適用可能なオファリングに記載されています。

3.2.1 IBM Cognos Analytics Workgroup on Cloud

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
95% 未満	2%

3.2.2 IBM Cognos Analytics Standard on Cloud

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99% 未満	2%
95% 未満	5%

3.2.3 IBM Cognos Analytics Enterprise on Cloud

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99.9% 未満	2%
99% 未満	5%
95% 未満	10%

3.2.4 IBM Cognos Analytics on Cloud Capacity

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99.9% 未満	2%
99% 未満	5%
95% 未満	10%

*「クラウド・サービス」がIBMビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを50%割引した額となります。IBMは、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

4. テクニカル・サポート

テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook の記載に従って「クラウド・サービス」に対するテクニカル・サポートが提供されます。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」に含まれ、別個のオフERINGとして提供されるものではありません。

5. エンタイトルメントおよび課金情報

5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. 「許可ユーザー」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接のいかなる方法においても(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた特定の「許可ユーザー」ごとに、個別に専用のエンタイトルメントをいずれかの手段により取得しなければならないものとします。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- b. 「エンゲージメント」は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「クラウド・サービス」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- c. 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」とは、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- d. 「ギガバイト」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「ギガバイト」とは、2の30乗バイトのデータとして定義されます(1,073,741,824 バイト)。「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」によって処理される「ギガバイト」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

5.2 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントの範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の記載に従い、その超過分について請求されます。

5.3 リモート・サービス料金

「リモート・サービス」は、「エンゲージメント」ごとに購入するものとし、「取引文書」に記載された料金で請求されます。

6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

7. 追加条件

7.1 イネープリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」を使用するには、お客様がご自身のシステムにイネープリング・ソフトウェアをダウンロードする必要があります。イネープリング・ソフトウェアにより、「クラウド・サービス」の使用が促進されます。お客様は、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネープリング・ソフトウェアを使用することができます。イネープリング・ソフトウェアは、以下の条件で提供されます。

イネープリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件 (ある場合)
IBM Cognos Framework Manager	http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf
IBM Cognos Transformer	http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf

7.2 バックアップ

共有フォルダー・スペースおよびアプリケーション・データベースのバックアップは、日次で実行されます。バックアップは、ローカルで取得され、別のデータセンターに保存されます。IBM は最新 7 日分の日次バックアップ、さらに 4 週分の週次バックアップを保持します。バックアップは、ディスク・ベースのバックアップ・システムに保存する際、および伝送中は暗号化されます。

7.3 災害復旧

自然災害 (例: 火災、地震、洪水、その他) によって大規模なシステムの中断が発生した場合、IBM がお客様の「クラウド・サービス」をプロビジョンしているデータセンターにおいて、または IBM の制御不能な原因によって大規模なシステムの中断が発生した場合、14 暦日の復旧目標をもって別のデータセンター経由でお客様の稼働データを復元すべく商業的に合理的な努力を払って災害復旧を実行します。これは保証ではなく、サービス・レベル・アグリーメントも一切適用されません。

7.4 お客様が提供する資料

お客様が IBM に対して、お客様または第三者のドライバー、JAR ファイル、ライセンス・ファイル、構成ファイル、およびお客様が IBM にお客様の「クラウド・サービス」環境で使用するよう依頼するその他の資料 (「お客様が提供する資料」と総称します) を提供する場合は、お客様はここに、お客様の該当する知的財産権に基づいて、お客様に「クラウド・サービス」を提供するためにのみ「お客様が提供する資料」を使用するための、支払い済み、非独占的、譲渡不能、全世界的、かつ制限付きの使用権 (再使用権を許諾する権利は含まない) を IBM に許諾します。IBM は、かかる「お客様が提供する資料」を使用するか否かについて独自に判断し、理由を問わず、独自の裁量により随時「お客様が提供する資料」の使用を中止することができます。

お客様は、(a) お客様が「お客様が提供する資料」を IBM に供与するために必要な権利を有していること、(b) IBM が、お客様に「クラウド・サービス」を提供する際に「お客様が提供する資料」を合法的に使用できること、および (c) 「お客様が提供する資料」には有害なコードが含まれていないことを継続的に表明し、保証します。お客様は、IBM に「お客様が提供する資料」の使用を認める権利を喪失したか、または「お客様が提供する資料」に有害なコードが含まれていることに気付いた場合は、速やかに IBM に通知するものとします。

お客様は、以下のことを了承します。(a) IBM は、「クラウド・サービス」内で「お客様が提供する資料」が機能することを保証しないこと、(b) 「お客様が提供する資料」により、IBM による (1) 「クラウド・サービス」に関連する表明および保証、または (2) 「クラウド・サービス」の「サービス・レベル」を達成する IBM の能力が阻害される場合は、IBM はお客様に対する責任を負わないこと。